

会計学総論2014 成長性分析(増加率・健全性) 練習問題

※ 各自が持参した、損益計算書、貸借対照表および「(2)提出会社の経営指標等」のデータを用いて、①財務比率を計算し、その結果に基づいて、②成長性の良否と成長の健全性を評価しなさい。

損益計算書と貸借対照表の財務データを用いた成長性の分析

(1) 売上高増加率・利益増加率

⇒ 商品・製品の販売額合計やサービスの提供額合計がどれほど増加・減少してきているか、各種の利益はどれほど増加・減少してきているかを見る

	2期間の差額	÷	基準年度の数值	×	100%	=	
1 売上高増加率 =							
2 営業収益増加率 =							
3 営業利益増加率 =							
4 経常利益増加率 =							

(2) 資産増加率・純資産増加率

⇒ 事業活動に使用している資産や純資産がどれほど増加・減少してきているかを見る

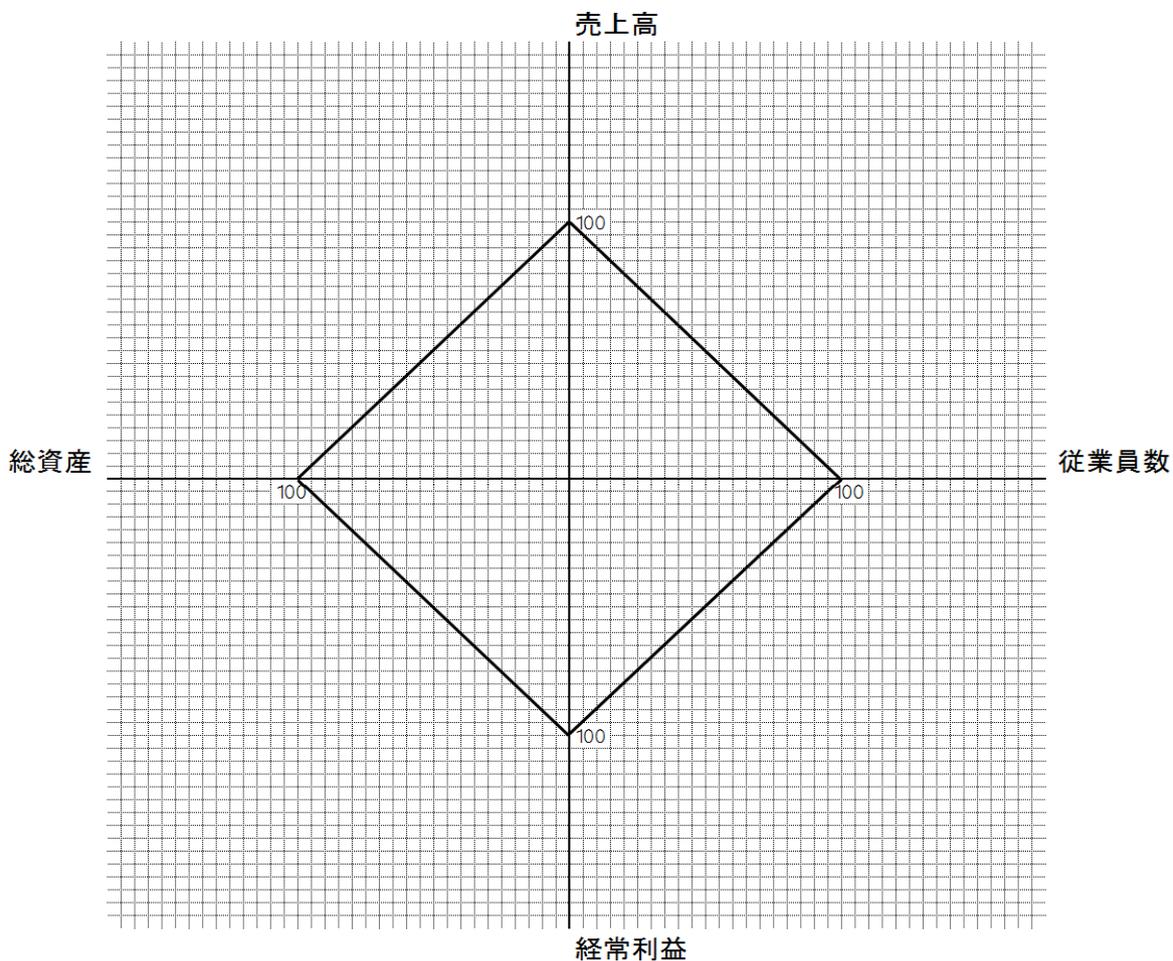
	2期間の差額	÷	基準年度の数值	×	100%	=	
1 総資産増加率 =							
2 有形固定資産増加率 =							
3 純資産増加率 =							

成長性の評価 =

(3) 成長の健全性分析(1)

⇒ モノ(総資産)、ヒト(従業員数)、カネ(売上高・経常利益)とがバランスよく成長しているかどうかをみる

※ 「(2)提出会社の経営指標等」のデータを用い、4期前の数値を100とし、2期前と当期を比較すること



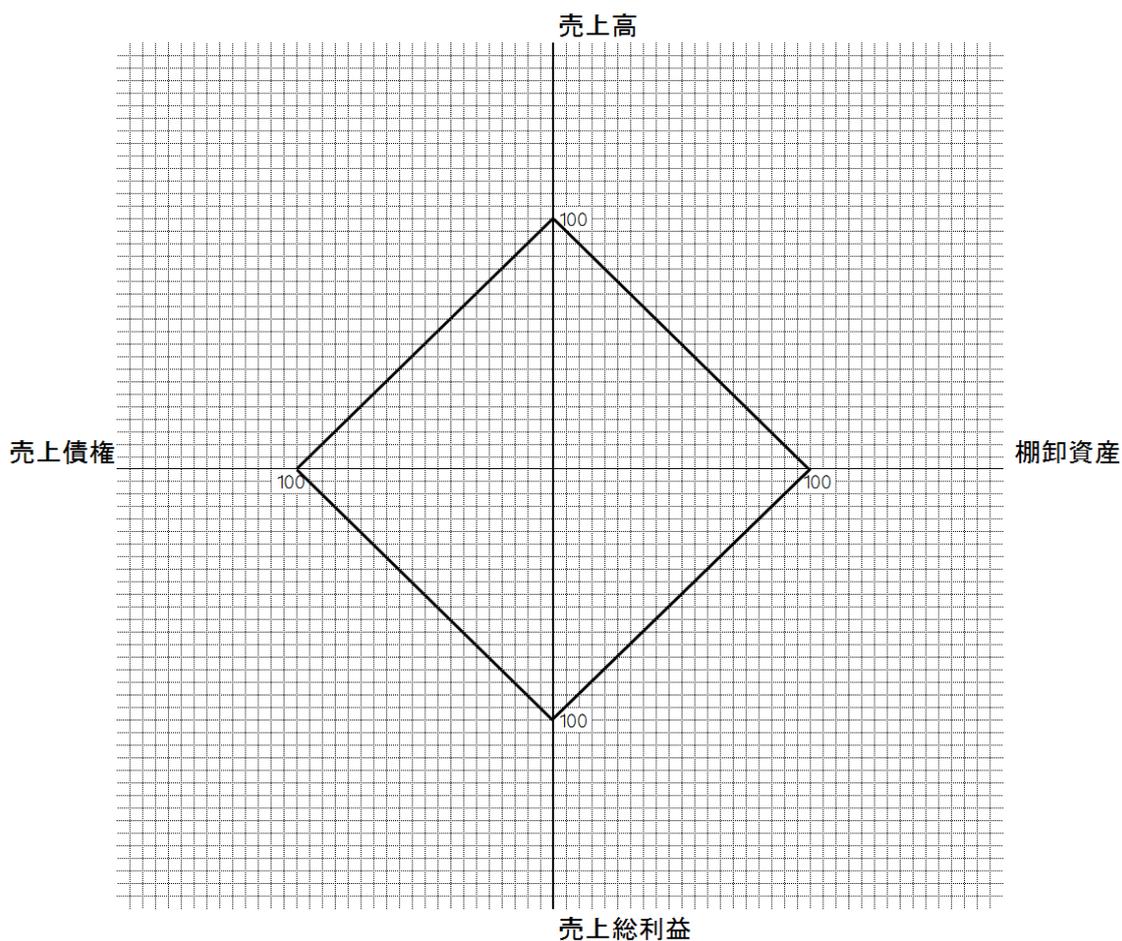
成長の健全性の評価 =

(4) 成長の健全性分析(2)

⇒ モノ(売上債権・棚卸資産)、カネ(売上高・売上総利益)とがバランスよく成長しているかどうかをみる

※ 次のデータを用い、4期前の数値を100とし、2期前と当期を比較すること

	4期前	3期前	2期前	前期	当期
売上高	135,861	158,106	168,118	178,079	213,177
売上総利益	81,517	91,701	104,233	99,265	138,421
売上債権	46,872	56,602	59,178	62,996	66,095
棚卸資産	8,559	10,593	11,096	12,031	12,573



成長の健全性の評価 =